



60年の歴史、新たな時代の幕明けに！

これまでお知らせしてきたとおり、今年、川越市立東中学校は創立60周年を迎えました。10月5日には、60周年記念行事の一つである記念樹の植樹祭が行われ、19日には記念式典（3年生対象のお祝いの会）が無事に開催されるなど、コロナ禍において、様々な注意を払いながらも実施につなげていただいた記念行事実行委員会の皆様のご尽力には心より感謝申し上げます。

今、グラウンドには合歡の木1本とやまぼうし2本が植えられ、成長するとちょっとした木陰が作られることで日常生活に潤いを与えるとともに、生徒の成長を願う花言葉が今後の期待を感じさせてくれます。植樹は3年生を主体とした第59代生徒会本部役員の生徒が参列しました。また、式典は、第60回卒業生となる3年生のみの参加でしたが、実行委員長様のお祝いの言葉により、最上級生としての誇りと東中学校代々の先輩達から受け継ぐ重みを実感することができた有意義なものとなりました。『胸を張り、瞳輝く東中生』として今後も伝統を継いでいってほしいと思います。60年と一口に言っても想像が付きません。人で考えてみるなら、60歳とは人生一区切りといったところでしょうか。新たな一歩を踏み出す時とも言えます。そのような意味で第60回卒業生となる3年生には東中の歴史の上に、あるべき自分たちの姿を考え、進んでいってほしいと思います。

これまで東中学校を支えてくださった卒業生、保護者、地域など多くの方々にあらためて感謝の意を表したいと思います。そしてこれからもどうぞよろしく願いいたします。

なお、記念事業の一つである『60周年記念誌』がこのあと発行される予定です。東中の今昔の違いや今の様子をご覧いただければ幸いです。どうぞお楽しみに！



植樹祭でやまぼうしの木に土をかける第59代生徒会本部役員の3年生



記念式典では実行委員長さんより記念品目録をいただきました

合唱祭～心に響く歌声 コロナ禍でも「心」は失わない！

10月27日、令和2年度の東中学校合唱祭が行われました。例年だと、東邦音楽大学のグランツァールで来賓や保護者の方を迎え、発表をしているところですが、今年度は開催も危ぶまれる中、本校の体育館にて、学年ごと、非公開で実施という形になりました。

生徒には、場所が変わっても合唱は変わることなく、クラスの仲間が心をひとつにして歌い上げてほしいと話をしました。結果、どのクラスも本気で、心を込めて、精一杯の合唱を聴かせてくれたと思います。今回、感染予防対策として発表時もマスクを着用することを決断しましたが、それでも一人一人が頑張るって声を届けようという思いが強く伝わって感動しました。1年生は初めての合唱、どうでしたか？2年生は男声がいっぱい出てきたのまとまりのある合唱に感じました。そして3年生はこれまでの集大成というべき、バランスのとれた素晴らしい合唱でした。DVDで他学年の合唱をぜひ聴いてください。コロナ禍でもできることを精一杯！これからも前進あるのみ、『そこに美がある』！